

令和6年度第2回旭川市科学館協議会議事録

日時

令和6年11月13日（水曜日）午後3時から午後4時20分まで

場所

旭川市科学館1階 学習・研修室

出席者

（委員）

津嶋会長，谷越副会長，加藤委員，小嶋委員，金谷委員，石田委員，奥村委員，高橋委員，ローゼエルマイヤー委員，渡辺委員

（事務局）

佐藤社会教育部長，岩崎科学館長，中田主幹，南雲副館長，鷺見専門官，福谷主査，大瀧主査，近藤主査，藤原主査

会議の公開・非公開

公開

傍聴者の数

なし

会議資料

資料1 令和7年度予算要求概要

資料2 令和7年度 事業別 予算要求概要

会議要旨

1 開会

2 議事

（1）令和7年度予算要求概要について

会長	議事(2)について，資料1の「科学館管理費」と「科学館補修費」について事務局から説明願う。
事務局	資料1及び資料2に基づき説明
会長	議事(2)について，質問，意見等の発言を願う。
委員	会計年度任用職員の増員が必要な理由は何か。

事務局	令和４年度、科学館２階の電子工作室にテックラボを開設し、電子工作分野の事業を拡大したが、運営していく上で電子工作分野の担当職員が不足しているため、その関連分野の職務経験がある会計年度職員を新たに採用したいと考えている。
委員	職員の増員だけではなく、事業の構成や内容も見直すべきではないか。
事務局	事業内容の見直しも検討しているが、それを勘案しても、電子工作分野を専門としている人員が足りないので、増員が必要であると認識している。
委員	天文台制御用として、まだ WindowsXP のパソコンを使用しているというのは、驚きだ。まだ使用できているのか。
事務局	天文台制御用パソコンは、インターネットに接続しているわけではないので、パソコン自体が故障しなければ、WindowsXP であってもセキュリティ等の問題は無いが、機械なのでいつまでも使えるわけではなく、耐用年数は超えているので、更新が必要である。
会長	他に意見等がなければ次に進む。 引き続き、議事(2)について、資料１の「プラネタリウム整備費」と「科学館事業活動費」について事務局から説明願う。
事務局	資料１及び資料２に基づき説明
委員	予約なしで参加できる事業の参加者は多いのか。
事務局	予約なしで参加できる糸のこ体験は、開催日は１００人程度の参加がある。
委員	その実績があることから、予約なしで参加できる事業を増やそうとしているのか。
事務局	実績というものもあるが、科学館の来館者には、当初から予定して来ての方のほか、雨天なので科学館に来たというような方もおり、そういった方々が、予約が必要な事業に参加している来館者の様子を見て、「参加してみたい」と感じている様子が見受けられるので、そのようなニーズに対応していきたいと考えている。
委員	そういった取り組み自体は素晴らしいと思うが、予想以上に参加希望者が多い場合などは、対応が大変なのではないか。
事務局	先日の１１月３日に行った科学館まつりでは、全て予約不要の事業により行っており、そのノウハウもあるので、職員のワークライフバランスも考慮しての開催は可能であると考えている。
委員	科学館の事業にもっと参加したいと考えている市民は多いと感じている。 科学館の事業に熱心に参加する市民が増えることは、将来的な旭川の発展にもつながっていくことが期待できる。 他の施設との連携していくことで、もっと事業内容が充実し、旭川の魅力が高まるのではないか。
事務局	今年度の事業でいえば、旭川空港に出張し、空港で天体観測をするといった事業があり、参加者に楽しんでもらえた様子だった。科学館単独で取り組む事業だけでは限界もあるので、今後も関係機関や他施設等と連携した事業に取り組んでいきたい。

会長	他に意見等がなければ次に進む。 引き続き、議事(2)について、資料1の「科学館施設整備基金積立金」と「科学館特別展開催費」について事務局から説明願う。
事務局	資料1及び資料2に基づき説明
委員	令和7年度の特別展の費用は、どこから支出することになるのか。
事務局	特別展は、旭川市単独の事業として実施するのではなく、実行委員会形式で行う。実行委員会で行う事業は、実行委員会の過年度事業の繰越金、旭川市からの負担金、特別展の入場料収入を財源として実施する予定になっている。
委員	令和5年度の決算額、令和6年度の予算額は0円になっているが、事業費はどうなっていたのか。
事務局	令和5年度と令和6年度に実施した企画展は、実行委員会の過年度事業の繰越金により運営し、旭川市が支出する費用（負担金）は0円であった。
委員	令和7年度実施予定の特別展は特撮に関する内容を検討しているとのことだが、特撮は科学といえるのか。
事務局	特撮に関連するいろいろな技術の背景には、科学の要素がちりばめられているので、科学に関連があると認識している。
委員	子どもたちが「なぜ、どうして」と考えることが科学につながるので、科学館がそういったことのきっかけ作りができる場になればいいのでは。 そのような科学館の取組を市民に伝えるために、ホームページの他にスマートフォンのアプリ等があれば的確にお知らせできるのではないかと思っている。
事務局	科学館の取組を伝える手段としては、まだ紙媒体のものが中心で、次のステップになかなか進んで行けていないという課題はある。 先日ロケット発射のパブリックビューイングを科学館のサイエンスシアターで行った。このイベントの実施は当日決定のため、広報はXを利用した。他に館内での呼び込み等も行い、開催時はサイエンスシアターが満席になったということもあった。 今後も紙媒体以外での情報発信も引き続き検討していきたい。
会長	他に意見等がなければ次に進む。

(2) その他

会長	議事(2)について、事務局から説明願う。
事務局	ありません。
会長	他に意見等があれば、発言を願う。
委員	旭山動物園ではバスレンタル事業というものがあるが、科学館にはそのような事業はあるか。
事務局	旭山動物園のバス関係の事業は、旭川市の事業ではなく、旭山動物園の関係団体が行っている。科学館には、科学館独自でも、関係団体でも、現在そのような事業は実施していない。

	バスの費用をどうするかという問題はあるが、学校とはいろいろな形で連携をとっていきたいと考えている。
委員	学校の授業で科学館に来るということであれば、バス代の問題さえクリアできれば、来ることができる。 こんなに立派な科学館，立派なプラネタリウムがあるのに，市内の小中学校が授業であまり利用できていないのはもったいない。 この会議の場だけで決められるものではないと思うが，ぜひ，検討して欲しい。
事務局	プラネタリウムは，市内の学校に利用して欲しいと考えているので，交通費の問題については，市内部でも検討したい。委員の皆様にもご協力いただきたい。
委員	科学館に子どもたちが，何か疑問に思うことがあったとき，その疑問を共有できるような場はあるか。
事務局	取組の一つとして，テックラボで，来館者がつくりたいと思ったものを形にするときに，職員がアドバイスし，疑問点や問題点を解決するといったことも行っている。2階のレファレンスルームでは，子どもが疑問に思ったものを持ち寄って調べ物学習に利用されている。 来館者同士がコミュニケーションをとれるような場の提供といった部分では，まだ弱いのが現状だ。 来館者同士がコミュニケーションをとり，深めていく，といったことのお手伝いをしていくことも必要なこととの認識は持っている。
会長	他に意見等がなければ次に進む。

3 閉会